

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮崎県

●地域における現状・課題

- ・少子化に伴い、生徒数が減少し、生徒のニーズに対応できる部活動が少なくなっている現状である。
- ・宮崎県教職員時間外業務時間の状況（令和4年度）においても、時間外業務時間45時間以上が、小学校が18.5%に比べ、中学校が48.7%であった。
- ・部活動改革に関する協議会を開催する、または、開催予定である市町村は15市町村（57.7%）であり、改革が進んでいない状況であった（令和5年6月調査）。

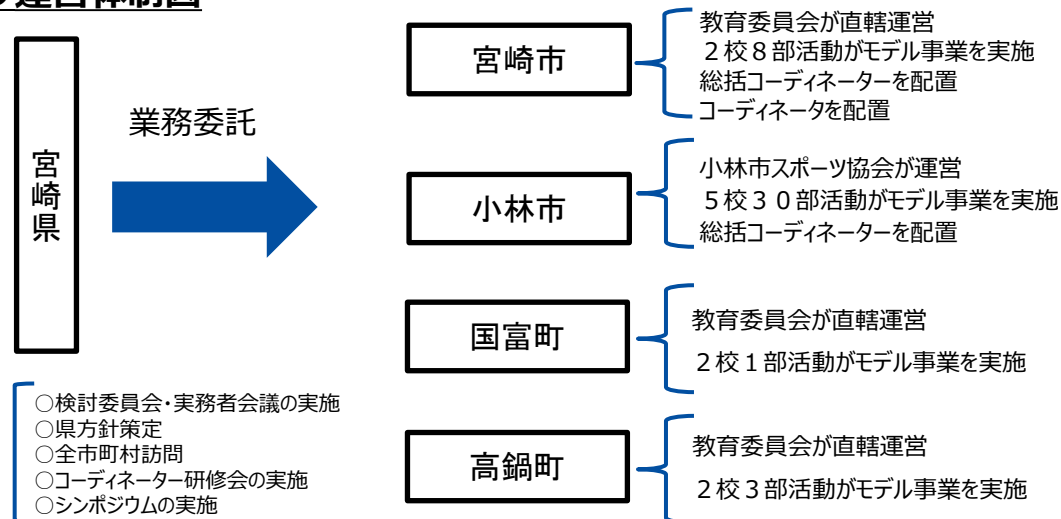
●取組事項の概要

- ・国のガイドラインに基づく、「宮崎県学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」を策定した。
- ・全市町村を訪問し、地域の実態等の情報交換を実施したり、市町村担当者向けにコーディネーター研修会を実施したりした。
- ・部活動改革に関する理解や周知を目的に、県全体でシンポジウムを開催した。

●取組の成果、特に工夫した点等

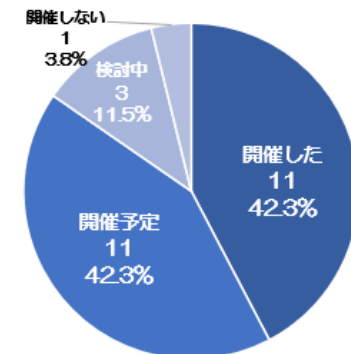
- ・11月の調査では、協議会を実施した・実施予定の市町村が22市町村（84.6%）となった。
- ・来年度から、市町村を越えた拠点校方式の部活動が始まるなど、広域的な連携が広がっている。
- ・シンポジウム終了後のアンケートでは75名の回答があり、「とても参考になった」「ある程度参考になった」の回答が74名（98.7%）であった。

●運営体制図



宮崎県部活動の地域連携・地域移行等に係るアンケート調査
（市町村対象 令和5年11月 県教育庁スポーツ振興課調査）

令和5年度内に、貴市町村内で部活動の地域移行に関する会議を開催しますか。



令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮崎県宮崎市

●地域における現状・課題

- ・本市の中学校数は25校、生徒数9,806名、部活動数は運動部247部、文化部48部、総部活動数295部、加入率は68.4%です。また、教員の時間外業務時間の比較ですが平日のみと休日を含むものとの差が大きい月で、13時間38分もあります。
- ・課題としましては、生徒数が減少している学校では、部員数や職員数が減り、部活動数も減少しており、そのため、生徒のやりたい部活動がない、大会に参加したいが人数が足りないといったことです。また、教員が専門外の部活動を任せられたり、勤務時間外に活動したりすることも、教員の負担にもなっております。

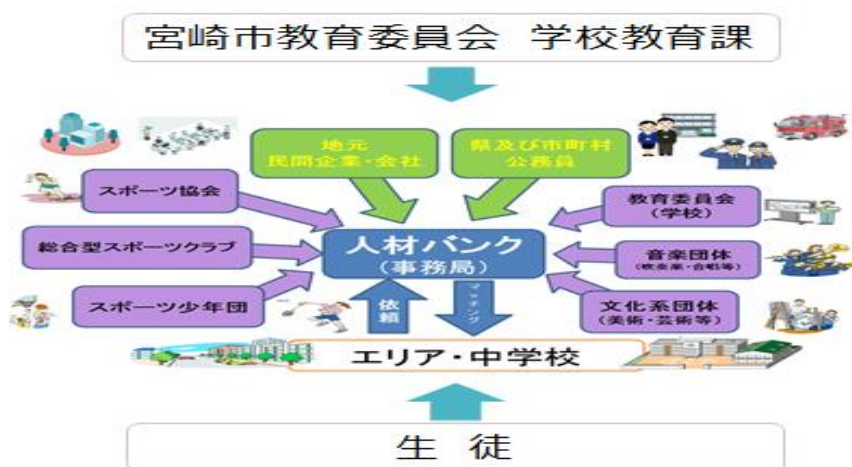
●取組事項の概要

- ・指導者を確保するために、人材バンクを整備しました。
- ・モデルエリアと競技を指定し、休日のみ、地域連携・移行しました。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・市単独で人材バンクのシステムを構築し、要項から作成しました。
- ・推進モデル事業での欠席連絡については欠席連絡アプリを活用し、保護者がアプリから欠席連絡をし、エリアコーディネーターが確認し、指導者に伝える順序で行いました。
- ・平日の指導者（顧問）と休日の指導者との情報共有・交換につきましては、クラウド上で「Google form」を活用し、行いました。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

拠点校名	赤江中学校、赤江東中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	8部活
地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、卓球、陸上、ソフトテニス、男子バレーボール、女子バスケットボール、新体操、弓道
運営主体名	宮崎市教育委員会学校教育課
運営類型	市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
1か月あたりの平均的な活動回数	全ての種目 月4回程度 1日3時間程度
指導者の主な属性	本市会計年度任用職員
活動場所	赤江中学校、赤江東中学校 体育館・グラウンド
主な移動手段	徒歩・自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	全種目：なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

令和 5 年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮崎県国富町

●地域における現状・課題

- ・生徒数の減少により団体競技の部活動を廃部にした学校や、部活動は存在するものの学校単独では人数がそろわずチーム編成が困難な状況が生じている。
- ・団体競技の部活動については、学校部活動として教員が指導しており、中には競技経験が全くない部活動を受け持つなど負担が大きい。
- ・地域に民間のスポーツクラブ等はなく、部活動の委託先がない。そのため、個別に地域指導者を探し、指導に当たってもらうなどマンパワーに頼らざるを得ない。

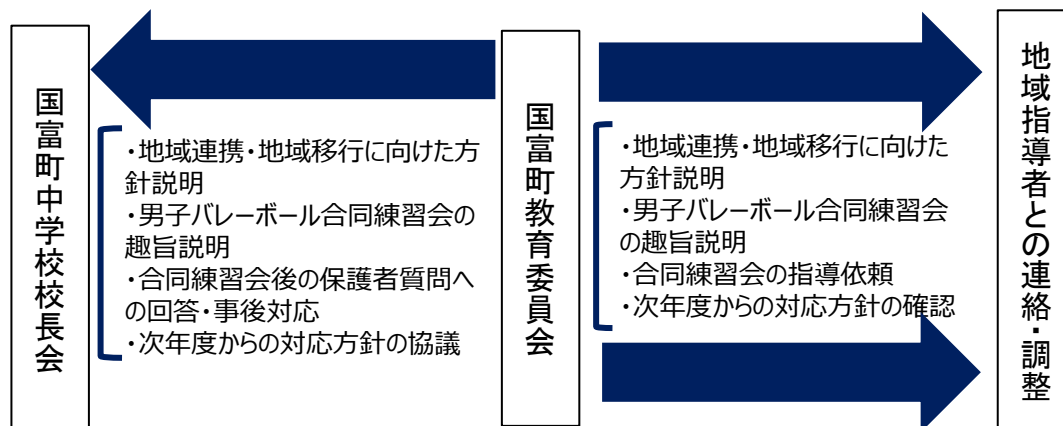
●取組事項の概要

- ・部活動の地域連携・地域移行を進めるにあたっては、単独校で行うのではなく、まずは団体競技の部活動を町内 1 つに集約し拠点校方式での活動としていく。
- ・地域の指導者が確保できる部活動については、地域クラブに移行していく。今年度は、男子バレーボールについて、地域移行のための 3 校合同練習会を実施した。
- ・令和 5 年度については、学校と地域・行政等をつなぐ適任のコーディネーター等が見つからなかったため、教育委員会が主体となって体制整備を進めた。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・本町の 3 中学校のうち、1 校にしか設置のない軟式野球とバスケットボールについては、令和 4 年度中に調整を行い、令和 5 年度から拠点校方式での部活動に移行した。
- ・男子バレーボールについて、地域指導者による 3 校合同の練習会を 2 回計画した（1 回はインフルエンザの流行により中止）ことにより、地域移行への目処が立った。
- ・令和 5 年度は教育委員会が主体となり、合同練習会の調整を行った。また、保護者からの質問等についても、教育委員会が回答し、保護者の不安軽減に努めた。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要

- (1) 運営類型：市町村運営型（地域団体・人材活用型）
- (2) 運営主体：国富町教育委員会
- (3) 種目：男子バレーボール
- (4) 指導者の主な属性：一般社会人、教員
- (5) 1 か月あたりの平均的な活動回数：月 1 回程度
- (6) 主な活動場所：国富町立体育館
- (7) 主な移動手段：自転車、保護者送迎
- (8) 1 人あたりの参加会費等（年額）：なし
- (9) 1 人あたりの保険料：生徒 7 5 円／回 指導者 7 5 円／回

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮崎県高鍋町

●地域における現状・課題

高鍋町は、宮崎県の海岸沿いのほぼ中央に位置し、県内で一番狭い地方自治体であるが、人口は、県内で9番目に多く、狭いながらも、県、国の出先機関等の公共機関が集中しているコンパクトな町である。町の東西に中学校があり部活動も盛んにおこなわれている。本町の教育委員会では、部活動の地域移行について、令和2年度末に部活動検討委員会を設置している。当初、本町では部活の地域移行の受け皿として、スポーツ少年団を考えていたが、スポーツ少年団の各種競技の指導者にアンケートを実施したところ、多くの部活動が受け入れは難しいとの回答であったため、スポーツ少年団での受け入れは断念した。その後は、本町のNPO法人 高鍋スポーツクラブとの連携を図る案を検討しているが、高鍋スポーツクラブは指導者の登録者が少ない等の体制の課題があり、受け入れをするためには体制を整備する必要がある。

●取組事項の概要

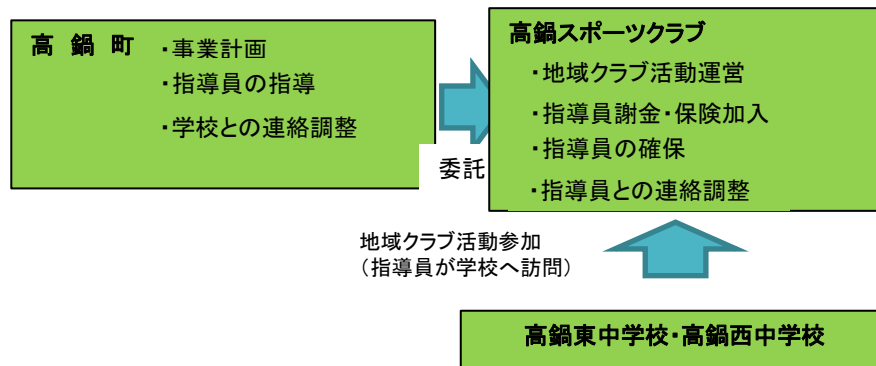
NPO法人 高鍋スポーツクラブに「高鍋町休日部活動管理運営事業実証事業」を委託した。町内の中学校2校の部活を選定し、休日部活動の場所に高鍋スポーツクラブの指導員を派遣する形で行った。西中学校は、女子バスケットボール部には、顧問が専門でなかったため、指導歴の長い指導者を派遣した。また、東中学校は、男女バレーボール部を1名の顧問が指導をしていたので、2名の指導員（指導未経験）を派遣した。

●取組の成果、特に工夫した点等

成果を問うアンケートを実施した。

- ・【アンケート結果】西中学校女子バスケットボールの方は、教員、生徒、保護者ともに良好な回答が多かった。教員は休日の確保ができ、生徒、保護者も専門的な指導を受けれたことを大変よろこんでいた。
- ・【アンケート結果】東中学校男女バレーボール部は、教員の反応は良好であったが、生徒、保護者からは、指導では物足りないとの意見があった。教員からは2名体制の指導で安全性が向上したことを大変喜んでいて、教員が専門であったため、指導員は指導方法等にふれないよう連携し、情報を共有したが、生徒、保護者からは指導員の専門的な指導を要望する声があった。
- ・【総括】高鍋スポーツクラブに委託した「高鍋町休日部活動管理運営事業実証事業」について、実施体制が整備されたことで、今後、高鍋スポーツクラブに事業委託することが可能となったが、指導員の質の確保については、課題が残った。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営運営型（総合型地域スポーツクラブ運営型）
- (2) 運営主体：NPO法人高鍋スポーツクラブ
- (3) 種目：バスケットボール部
- (4) 指導者の主な属性：スポーツクラブ会員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：約4回（土日のいずれか）
- (6) 主な活動場所：高鍋西中学校 体育館
- (7) 主な移動手段：自転車、徒歩
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

宮崎県小林市

●地域における現状・課題

- ・生徒数は、令和元年度から令和5年度の直近5ヵ年で比較して75人減少し、部活動数について運動部は5つの部活動が減少している。
- ・令和元年度に小林市教職員の働き方改革プランを作成し、地域、保護者、関係機関、学校、教育委員会が一体となって教職員の働き方改革に取り組んでいる。
- ・地域指導者の確保、地域クラブ活動を運営する仕組み、経費負担の在り方、学校以外における練習時の移動手段の確保等の課題整理が必要である。

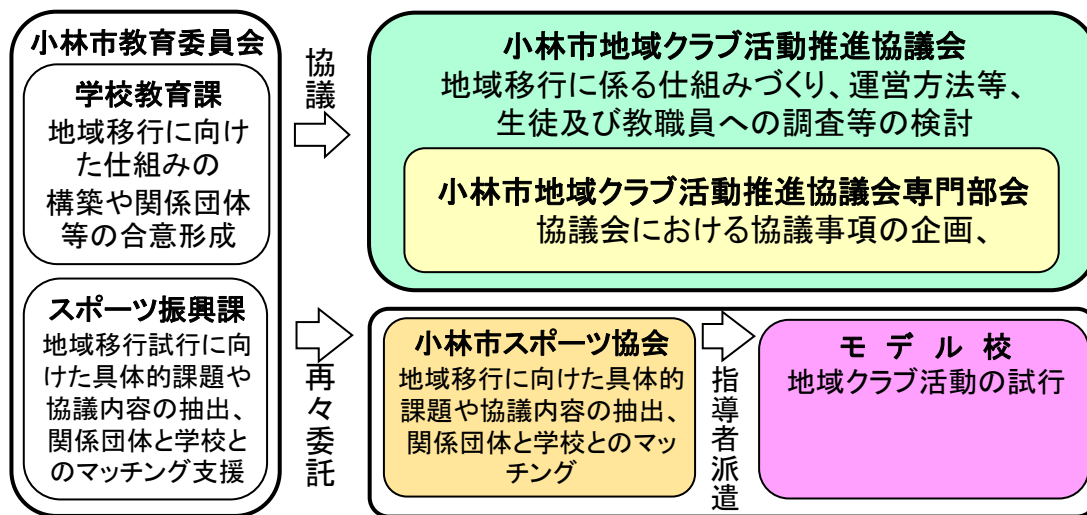
●取組事項の概要

- ・小林市地域クラブ活動推進協議会や小林市地域クラブ活動推進協議会専門部会を中心に、関係団体との連携強化を図る。
- ・地域クラブ活動移行に係る具体的な課題解決の方策やスケジュール定め、次期推進計画の策定（案）を作成した。
- ・協議会や専門部会を中心に、関係団体の裾野を広げ、広く市民が参加できる研修会を実施した。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・専門部会の事務局を小林市スポーツ協会に委託することで、本市で活動する各競技団体から地域指導者の派遣を効率的に進めることができた。
- ・試行活動においては、指導者間による調整により、モデル校同士の合同練習や、小・中・高異校種合同の練習が行われた。
- ・地域クラブの指導者以外の指導者も参加できる指導者研修を行ったことから、広く市民が参加する機会の創出となった。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：地域スポーツ団体等運営型
- (2) 運営主体：小林市スポーツ協会
- (3) 種目：陸上競技部
- (4) 指導者の主な属性：団体職員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：3回
- (6) 主な活動場所：小林市総合運動公園陸上競技場
- (7) 主な移動手段：自転車、送迎
- (8) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (9) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円